

# 静岡市議会活動報告

～静岡市議会基本条例に基づく取組～

平成 29 年度

平成 30 年 4 月

静岡市議会

## はじめに

平成 29 年 3 月 26 日に静岡市議会議員選挙が行われ、同年 4 月 1 日より、新体制で静岡市議会が始動し、1 年が経過しました。

新たな体制でスタートした静岡市議会では、この 1 年間様々な取組をして参りました。

29 年度は、市議会と市民との距離を縮めるため、市議会ホームページ掲載情報の見直しや、静岡市議会として初の取組である高校生との意見交換会を静岡市立高校と清水桜が丘高校で開催いたしました。今後も高校生に限らず、市民と議会の距離を縮めるべく、一歩ずつ着実に取り組んで参ります。

この度、静岡市議会基本条例に基づく 29 年度の静岡市議会の活動を取りまとめ、「静岡市議会活動報告」として発行いたします。昨年度より発行を開始し、今回で 2 年目となります。

より良い静岡市を目指し、市議会の責務を果たすとともに、より市民に開かれた議会の実現に向け、積極的に取り組んで参ります。

平成 30 年 4 月

静岡市議会議長 井上 恒彌

#### 【平成 29 年度の主な取組】

平成 29 年度は静岡市議会としては初となる、高校生との意見交換会を実施しました。11 月 17 日に静岡市立高校、2 月 20 日には清水桜が丘高校と、2 つの市立高校にて実施しました。その内容と様子を紹介します。

#### 【意見交換会の内容】

平成 29 年 11 月 17 日と 12 月 20 日に、主権者教育の一環として、市議会や選挙、身の回りの関心事についてざっくばらんに話をすることで、高校生に市政や議会、議員に興味や関心を持ってもらうことを目的とした市議会議員と高校生との意見交換会を実施しました。

議会からは、静岡市議会を代表して議長、副議長のほか、6 名の常任委員会委員長が参加し、高校側からは各校とも 20 名程度の参加がありました。

意見交換を実施するにあたり、高校生の興味や関心を事前に把握するため、選挙権や市の施策に関するアンケートを実施し、市高ではアンケート結果をもとに、意見交換のテーマを設定しました。

当日は、校長先生から高校の特色などを教えていただいたのち、市議会を代表して議長から意見交換会実施の経緯などをお話ししました。その後、生徒を 3 グループに分け、議員が 2 人一組となり、グループを回る形で、1 回 20 分×3 回のグループディスカッションを実施しました。様々な分野について、たくさんの意見が次々と出されました。



実施後に行ったアンケートでは、参加した生徒全員から「議会・議員に対する関心が（やや）高まった」との回答をはじめ、「議員への印象が変わった」「もっとこのような機会を増やしてほしい」といった肯定的な意見をいただきました。また、当日は時間が限られており、話し足りない様子であったため、参加生徒から議員あての質問を受け付け、生徒に指名された議員から、静岡市の施策を紹介した資料などを添付した上で、質問した生徒へ回答しました。

また、後日、参加した議員から意見交換会の報告があり、議員全員と共通認識を持つとともに、来年度実施に向けた機運の醸成を図りました。

3 月 15 日には、意見交換会での話題をもとに、静岡市立高校生徒会が通学路に関する全生徒アンケートを実施し、自転車通学で注意すべき箇所を一覧図にまとめた通学路危険箇所マップを作成し、議長、副議長に報告しました。

このマップは、新 1 年生を含めた全生徒で共有し、自転車通学におけるマナー向上や交通事故の予防や減少に役立てるとのことでした。

意見交換会が、その場での議員と高校生の出会いにとどまることなく、具体的な行動につながりました。

実 施 校	静岡市立高等学校	静岡市立清水桜が丘高等学校
参 加 生 徒	20 名	19 名
教 育 課 程	普通科	商業科
学 年	1 年生 8 名 2 年生 11 名 3 年生 1 名	1 年生 - 2 年生 - 3 年生 19 名
性 別	男性 14 名 女性 6 名	男性 5 名 女性 14 名
居 住 地	葵区 10 名 駿河区 6 名 清水区 3 名 (1 名不明)	葵区 1 名 駿河区 4 名 清水区 14 名
テ ー マ 設 定	あり 事前アンケートをもとに、生徒が興味のある市の施策の中から議員が選定。各常任委員会ごとに一つのテーマとした。 ・津波対策、地震対策について ・人口減少について ・奨学金について ・消防団について ・地域活性化について ・自転車、道路について	なし より自由に話をするため、テーマを設定しなかった。
グループディスカッションの様子		

平成 29 年度の静岡市議会の活動を議会基本条例に沿って確認します。

第 1 章から第 3 章までの総則的規定のように取組実績の紹介が難しいものもあるなど、条文ごとに濃淡はありますが、静岡市議会では議会基本条例に繋がる活動を活発に行っています。

(前文)

静岡市議会は、地方自治制度における二元代表制の下、議員の合議体である議会が担う役割と責任がますます増大する時代にあつて、市の執行機関への監視機能及び政策形成機能を効果的かつ効率的に果たすとともに、市民に開かれた議会の実現に向けて、議会改革を実行してきたところである。

しかしながら、著しく変化する社会、経済情勢においては、議会の基本的な理念、議会及び議員の活動方針並びに市民と議会、市の執行機関と議会との関係等を明らかにし、その役割及び責務を十分に果たし、市民の負託に全力で応えるため、市民との協働により、更に市民に開かれた議会へと変革し続けることが求められている。

そこで、静岡市議会は、このような時代の要請を重く受け止め、議員一人ひとりが、住民に選ばれた代表者として公正かつ誠実に行動し、常に議会のあり方を見極め、「市民が心から愛し、誇りに思う静岡」を後世に引き継ぎ、また、大規模地震等の災害対応については、議会として迅速かつ的確に行動し、もって、市民福祉の向上及び本市の発展に寄与することを決意し、この条例を制定する。



静岡市役所静岡庁舎本館（議会棟）

静岡庁舎本館は、中村與資平氏の設計により昭和 9 年に建設されました。

ドーム屋根は青・緑系のモザイクタイル等で飾られ、市民からは「あおい塔」の愛称で親しまれています。また、4 階の傍聴席はスタンドグラスで彩られています。

平成 8 年には文化庁から登録有形文化財に指定されました。

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 この条例は、市議会に関する基本的事項を定め、市議会がその役割及び責務を果たすことにより、市民に開かれた市議会の実現を図り、もって市民福祉の向上及び市の発展に寄与することを目的とする。

### (基本理念)

第2条 市議会は、市の唯一の議決機関、市の執行機関に対する監視機関並びに政策立案及び政策提言をする機能を有する機関として、市民の意見を市政に反映させるため、公正な議論を尽くし、地方自治の本旨の実現を目指すものとする。

第1条に掲げる「市民に開かれた市議会の実現を図り、もって市民福祉の向上及び市の発展に寄与すること」や第2条の「地方自治の本旨の実現」は、いわば究極目標であり、未来永劫に続くテーマであるといえます。

議会基本条例は、この目的や基本理念に従って行う施策が条文化されていますので、議会改革に向けた取組の紹介は各条に記載します。

また、条例が目指すところの具体像や到達点、それに向けての現時点における水準を共通理解としておくことも議会改革を進めるにあたって重要なものになってきます。

28年度に議員発議による「静岡市市民による自転車の安全利用の確保に関する条例」を制定したことを受け、30年度の重点事業に「自転車安全教育推進関係事業」が掲出され、予算においては「自転車交通安全指導員設置事業」や「幼児期における交通安全教育の推進事業」の新規事業予算が計上されました。今後も引き続き、市議会の政策立案機能を発揮するとともに、議会活動の市政、市民生活への反映を目指し、静岡市議会としての活動を行っていきます。



平成30年2月定例会（代表質問）

## 第2章 市議会及び市議会議員

### (市議会の活動原則)

第3条 市議会は、静岡市自治基本条例（平成17年静岡市条例第1号）第17条に規定する市議会の役割及び責務を果たすため、次に掲げる原則に基づき活動するものとする。

- (1) 充実した審議及び討論を行うこと。
- (2) 議会運営における公正性の確保及び透明性の向上を図ること。
- (3) 市民への説明責任を果たすこと。
- (4) 不断の議会改革に取り組むこと。

本条は、市議会の活動原則を規定しているものであり、これを受けた個別具体の施策については第3章以下に規定されています。

このため、第3条に規定する市議会の活動原則を踏まえ実施した取組等については、第3章以下で紹介します。

なお、第3条第3号に規定する市民への説明責任を果たすため、政務活動費の使途の透明性のより一層の向上を図ることを目的に、29年度に政務活動費検討会を設置し、政務活動費の運用等について協議しました。

その結果、現在実施している、各区役所の市政情報コーナーでの紙媒体による証拠書類等の閲覧に加え、30年度（29年度交付分）から、静岡市議会のホームページで電子閲覧を開始することとしました。

また、従来は会派保管としていた管内調査交通費・通信費に係る証拠書類等（領収書等）についても、29年度交付分から議長あて提出し、こちらも市政情報コーナー及びホームページでの閲覧を可能とし、閲覧範囲を拡充します。

(市議会議員の活動原則)

第4条 市議会議員は、静岡市自治基本条例第18条に規定する市議会議員の役割及び責務を果たすため、次に掲げる原則に基づき活動するものとする。

- (1) 市民の意見の的確な把握に努めること。
- (2) 政策立案及び政策提言に必要な調査研究を行うこと。
- (3) 自らの議会活動を市民にわかりやすく説明すること。
- (4) 自らの資質の向上に努めること。

本条は、市議会議員が活動を行う際の原則を規定しています。

本報告書で、それぞれの議員活動を逐一紹介することは現実的ではありませんが、議員は自らの活動が第4条に適ったものでなければならないことと、さらに、その説明責任は議員自身に課せられていることを理解し、日頃の議員活動に邁進しなければなりません。

静岡市では、静岡市議会政務活動費の交付に関する条例を制定し、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、市議会における会派に対し、所属議員一人あたり月額25万円の政務活動費を交付しています。



(会派)

第5条 市議会議員は、議会活動を円滑に行うため、会派を結成することができる。

2 会派は、所属の市議会議員の活動を支援するとともに、政策立案及び政策提言のために調査研究を行い、必要に応じて会派間の調整に努めるものとする。

政務活動費の交付先は会派であり、また、総括質問における時間配分や委員会委員を選任する際にも会派を基本に検討するなど、会派は、静岡市議会における重要な基本単位となっています。

### 1 会派の状況

29年度から30年度にかけて会派の変動は次のとおりです。

平成29年4月(所属議員数)	平成30年4月
自由民主党静岡市議会議員団(25人)	25人
志政会(10人)	9人
公明党静岡市議会(6人)	6人
日本共産党静岡市議会議員団(5人)	5人
「山と町」安全の会(1人)	1人
緑の党グリーンズジャパン(1人)	1人

平成30年3月3日に栗田知明氏(志政会)がご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

### 2 会派活動

議案提出や意見書原案作成、議員発議条例の提案など議会機能に直結する活動のほか、各会派に交付される政務活動費を活用し、政策提言や議決等に繋げるための先進事例等の調査研究活動なども活発に行っています。

また、会派間での情報共有や調整を行うための各会派代表者会議を開催しています。

### 第3章 市民と市議会

#### (市民との関係)

第6条 市議会は、市民との協働による開かれた市議会の実現に努めるものとする。

- 2 市議会は、市民の意見及び知見を審議等に反映させるため、公聴会及び参考人の制度の活用を努めるものとする。
- 3 市議会は、請願及び陳情の審査に当たっては、その趣旨を理解するために、当該請願者又は陳情者の意見を聴く機会を設けるものとする。
- 4 市議会は、市民の意見を把握し、議会活動に反映させるため、市民との意見交換の場を設けるものとする。

#### 1 市民との協働による開かれた議会の実現

##### (1) コミュニティ紙へのコラム掲載

25年度から始まった「タウン新聞しずおか」へのコラム掲載を次のとおり行いました。  
なお、コラム掲載は㈱静岡リビング新聞社との協働により無料で行いました。

##### 【タウン新聞しずおかへのコラム掲載】

時期	タイトル
4月	本会議と委員会
5月	市議会を傍聴するには
6月	井上恒彌議長インタビュー
7月	牧田博之副議長インタビュー
8月	「開かれた議会」のために
9月	議会の流れ
10月	議員提案条例
11月	子ども模擬議会とは
12月	「開かれた議会」の実現に向けて（高校生との意見交換会）
1月	「開かれた議会」の実現に向けて（市議会ホームページ）
2月	市議会の傍聴は簡単？
3月	静岡市議会ってどこにあるの？

##### (2) 声の市議会だより吹込み

視覚に障がいのある方に議会情報を発信するための声の市議会だよりの音源を、録音ボランティアやまびこの協力のもと作成しました。

## 2 請願者又は陳情者からの意見聴取

請願・陳情件数及び意見聴取件数等は次のとおりです。

### 【請願・陳情における意見聴取】

区分	受付件数	意見聴取件数	
		議会運営委員会	所管委員会
請願	3	1	3
陳情	5	2	3

## 3 市民との意見交換の場

### 【高校生との意見交換会】

29年度は、議員提案条例の制定に伴う、市民や関係団体との意見交換会は行われませんでした。

一方で、冒頭に述べたように、市立の高校2校で議長、副議長、常任委員会委員長と高校生の意見交換会が行われました。27年度には、選挙権が18歳に引き下げられたこともあり、市民の一員たる高校生との意見交換の実施と同時に主権者教育にも繋がる取組となりました。(P.2、P.3参照)

(広報の充実)

第7条 市議会は、市議会に対する市民の関心を高めるため、多様な手段を活用することにより、議会活動に関する広報の充実に努めるものとする。

## 1 議会だより

定例会ごとに年4回発行し、全戸配付等しました。

内容は総括質問を中心に、議案ごとの会派別賛否一覧やトピック情報などであり、表紙は市内出身写真家が撮影した市内施設や風景美で彩られています。

発行部数 262,500 部（定例会ごと）、全戸配付により市民に届ける最も基礎的な情報発信ツールであり、読みやすい紙面づくりを意識しています。

また、議会だより点字版（総発行部数 423 部）を希望する方に届けているほか、CD等に録音した声の市議会だより（CD186 枚、カセットテープ 222 本）の貸出も行いました。



市議会だより  
(平成 29 年 6 月定例会号、11 月定例会号)

## 2 本会議インターネット中継

インターネット中継アクセス件数は 18,492 件で、前年度比 728 件、4.1%の増でした。

また、平成 28 年 9 月にスマートフォンやタブレットでの視聴対応を開始し、生中継のアクセス件数は大きく増加しました。

### 【インターネット中継アクセス件数】

	27 年度	28 年度	29 年度
視聴件数 (件)	21,163	17,764 (1,291)	18,492 (2,327)

※ 28 年度及び 29 年度の括弧内の数字はスマートフォン等によるアクセス数 (内数)

### 3 静岡市議会ホームページ

市議会ホームページトップページへのアクセス件数は 52,476 件で、前年度比 18,160 件、25.7%の減でした。

【静岡市議会ホームページトップページアクセス件数】

	27 年度	28 年度	29 年度
視聴件数 (件)	62,278	70,636	52,476

また、市議会ホームページコンテンツを充実させるため、新たに市議会や議長のスケジュール等を掲載する「市議会の動き」ページの作成や既存ページの見直しを行いました。

【主な見直し箇所】

ページ名	見直し内容
行政視察受入案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政視察受入の案内ページを作成。</li> <li>静岡市の特産や観光に関する写真を掲載し市内宿泊や飲食を勧奨。</li> </ul>
市議会概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会の役割、議会の構成（主な会議）、定例会の流れをより分かりやすく修正。</li> </ul>
傍聴	<ul style="list-style-type: none"> <li>手話通訳派遣に関する手続きを記載。</li> </ul>

### 4 Facebook

市当局が運営する静岡市 Facebook への投稿件数は 32 件で、前年度比 6 件（15.8%）の減でした。

【静岡市 Facebook への投稿件数】

	27 年度	28 年度	29 年度
投稿数 (件)	23	38	32



市議会インターネット中継



市議会HP（正副議長あいさつ）

【Facebook への主な投稿記事】

時 期	内 容
5 月	正副議長就任挨拶
1 月	正副議長による年頭の挨拶
3 月	任期満了の報告
定例会ごと	定例会開会のお知らせ
定例会ごと	本会議（総括質問）のお知らせ
定例会ごと	定例会閉会のお知らせ
定例会ごと	市議会だより発行のお知らせ
随時	常任、特別委員会等による現地調査
随時	議場見学、姉妹都市等の議長表敬 等

5 議会開催告知ポスター

従来からの静鉄電車、駅などに加え、27、28年度からは市内大学や高等学校にもポスターを掲出するとともに、同封する議会だよりの枚数を増やすなど、若年層への周知を行いました。

【議会開催告知ポスター掲出協力校】

分類	校数	掲出枚数
大学	5 校（国公立 2 校、私立 3 校）	5 枚
短期大学	4 校（公立 1 校、私立 3 校）	8 枚
高等学校	27 校（公立 14 校、私立 13 校）	27 枚



議会開催告知ポスター

## 6 子ども模擬議会

議場において小学校6年の児童が市議会議員と市当局役に分かれ、シナリオに沿った質問・答弁を通して市議会を体験する子ども模擬議会への参加学級数は45学級で、前年度比4学級(9.8%)の増でした。

学校側のニーズを把握し、今後の事業改善に繋げるため、参加した先生への事後アンケートを実施しました。アンケートでは、「実際の議場を使い、貴重な体験であった。」、「議会の流れを知ることができた。」などの意見や、「本物の議員さんから直接お話を聞けると良い。」との意見が複数ありました。

これらのアンケート結果を実施内容に反映できるよう検討を進めていきます。

【子ども模擬議会参加児童数等】

	27年度	28年度	29年度
参加児童数等	16校 39学級 1,149人	16校 41学級 1,143人	17校 45学級 1,208人

## 7 市民との協働による広報

声の市議会だよりの録音ボランティア協力など、市民との協働による広報を行いました。

(P.6 第6条「1 市民との協働による開かれた議会の実現」(2)参照)

## 8 議場見学

### (1) 議場見学

議場見学者数は189人で、前年度比37人(16.4%)の減でした。

【議場見学者数】

	27年度	28年度	29年度
見学者数(人/件)	194人/20件	226人/20件	189人/15件

(2) ま・あ・る館外講座「市議会議員体験！？静岡市議会の議場にいってみよう！」

平成29年7月31日に子どもクリエイティブタウンま・あ・るの館外講座に協力しました。

小学2年から6年までの親子7組15名を、議場をはじめ、議長室や議会図書室、傍聴席など、静岡市役所本館内を議員の動きに似せて案内しました。

アンケート結果では、「とても楽しかった」が100%を占め、非常に好評でした。今後も機会を捉え、議会の広報、啓発活動を行っていきます。



子ども模擬議会とま・あ・る館外講座

## 9 地域FMラジオ

昨年度に引き続き、地域FMラジオによる定例会総括質問のダイジェスト番組を総括質問最終日の翌週月曜日から金曜日の20時から1時間、放送しました。また、常任委員会・特別委員会の各委員長へのインタビューも放送しました。



(会議等の公開)

第8条 市議会は、市議会の会議、委員会及び議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場(第14条において「会議等」という。)を原則公開するものとする。

2 市議会は、議会活動に関する資料を積極的に公開するよう努めるものとする。

1 会議の公開

29年度に実施した会議等は、すべて公開しました。

2 傍聴者数

本会議及び委員会における傍聴者数の推移は以下のとおりで、本会議傍聴者数は767人と、前年度比19人(3%)の増でした。

【本会議等傍聴者数等】

	27年度	28年度	29年度
本会議(人)	697	748	767
常任委員会(人)	60	43	32
計(人)	757	791	799

3 傍聴における災害対応強化

平成30年4月から、議員席から傍聴席まで、議場の全ての座席に防災用の折りたたみヘルメットを備え付けました。



傍聴席と傍聴席(記者席)からの眺望

## 第4章 市長等と市議会

(市長等との関係)

第9条 市議会は、二元代表制の下、市長その他の執行機関(以下「市長等」という。)と緊張ある関係を保持しながら、議決機関としての役割を果たしていくものとする。

29年度における議決の状況は次のとおりです。

### 【議決の状況】

項目	状況	備考
市長提出議案	可決 189 件、否決 0 件	
議員提出議案	可決 4 件、否決 6 件	条例・意見書等
請 願	採択 0 件、一部採択 0 件、不採択 3 件	
そ の 他	16 件	議会の選挙・選任・推薦・決定等



採決の様子

(資料の要求)

第10条 市議会は、市長等に対し、審議等に必要な資料の提供を求めることができる。

本条の規定に基づく資料要求に先立つ行為ともいえる議員個人からの資料要求は 79 件で、前年度比 8 件 (11.3%) の増でした。

### 【資料要求件数】

	27年度	28年度	29年度
資料要求件数	72	71	79

(議決事件)

第 11 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 96 条第 2 項の規定に基づく議会の議決すべき事件については、別に条例で定める。

静岡市議会の議決すべき事件等を定める条例（平成 23 年条例第 47 号）により、総合計画の基本構想及び基本計画の策定、変更又は廃止を議決事件として定めています。

## 第5章 議会運営

(議会運営)

第12条 市議会は、公正性を確保し、かつ、透明性の向上を図るとともに、市民に開かれた議会運営に努めるものとする。

2 市議会は、議長及び副議長の選出について、その過程を明らかにするものとする。

### 1 議会内における公正性の確保

会派を基本単位として総括質問時間数を算定しますが、その際に、各会派に基礎時間を配分し、少数会派所属議員による総括質問ができるようにしています。

#### 【会派持ち時間】

会 派 名	所属議員数 (人)	持ち時間 (分)
自由民主党静岡市議会議員団	25	292
志政会	10	126
公明党静岡市議会	6	82
日本共産党静岡市議会議員団	5	70
「山と町」安全の会	1	15
緑の党グリーンズジャパン	1	15

※ 1次配分 基礎時間 (15分) + 5分 × 所属議員数 (所属議員が1人の会派は基礎時間のみ)

2次配分 総時間 (600分) から1次配分 (320分) を引いた残時間 (280分) を、交渉団体に対し、所属議員数に応じて加算配分する。

### 2 市民に向けた公正性の確保

市政運営に関し市民の皆さんから議会に寄せられた請願・陳情に対する審査方法等の取扱いは、原則として議会運営委員会に諮り決定しています。このとき、請願については、所管委員会での審査を経て本会議での採決を、陳情については所管委員会における審査・採決を基本としています。

### 3 透明性の向上

第8条第1項の規定に基づき市議会の会議等は原則公開としているほか、委員会を含めた会議録も全て公開しました。さらに、議会だよりに議案に対する会派ごとの賛否一覧を掲載するなど、議会の透明性の確保に努めました。

#### 4 議長及び副議長の選出

平成 29 年 4 月 25 日に新たな正副議長の選出に向けた所信表明会を開催しました。所信表明は、議長候補として井上恒彌議員及び内田隆典議員が、副議長候補として牧田博之議員及び鈴木節子議員がそれぞれ行い、4 月 26 日の本会議で井上恒彌議員を議長に、牧田博之議員を副議長に選出しました。



所信表明会

(委員会活動)

第 13 条 委員会は、市政の課題に対応して機動的に開催し、その機能を十分に発揮するよう運営するものとする。

2 委員会は、特定の地域の住民に関係が深い事案又は当該住民の関心の高い事案について審査しようとするときその他必要があると認めるときは、当該地域において委員会を開催することができる。

本市議会は常設の常任委員会と議会運営委員会に加え、特別委員会を設置しています。全ての議員はいずれかの常任委員会に、正副議長、議選監査委員、常任委員会委員長及び議運委員長を除く議員はいずれかの特別委員会に所属しています。

1 常任委員会（議事課）

常任委員会の構成と開催状況は次のとおりです。

【常任委員会委員構成】

常任委員会名	委員構成（人）						
	自民	志政	公明	共産	山	緑	計
総務委員会	5	1	1	1			8
市民環境教育委員会	4	2	1	1			8
厚生委員会	4	1	1	1		1	8
観光文化経済委員会	4	2	1	1			8
都市建設委員会	4	2	1		1		8
企業消防委員会	4	2	1	1			8
計	25	10	6	5	1	1	48

(平成 29 年 4 月 26 日現在)

※都市建設委員会は、栗田知明委員の死亡（平成 30 年 3 月 3 日）に伴い、志政会が 1 人減となった。

【常任委員会開催状況】

名 称	開催日数 (日)	付託案件数		
		議案 (件)	請願 (件)	陳情 (件)
総務委員会	7	32	0	2
市民環境教育委員会	7	18	1	0
厚生委員会	7	72	2	1
観光文化経済委員会	7	32	0	0
都市建設委員会	7	34	0	0
企業消防委員会	7	23	0	0

改選後、初めて開催された常任委員会（5月23日、24日）では、各委員会が所管事務を調査するとともに現地視察も行いました。

【所管事務調査現地視察実施状況】

名 称	実施日	現地視察先
厚生委員会	5月23日	①城東保健福祉エリア ②静岡市急病センター、こころの健康センター ③清水待機児童園 まりん ④一時保護所（児童相談所）
観光文化経済委員会		①清水港新興津地区 ②清水都心ウォーターフロント地区 ③清水ナショナルトレーニングセンター ④茂畑畑総（鳥獣被害に対する地域一体型防護柵）
都市建設委員会		①日本平公園 ②下大谷線・山脇大谷線 ③大谷新インターチェンジ ④浜川改修（地震・津波対策） ⑤国道150号静岡バイパス（駿河区中島） ⑥駿府城公園 ⑦追手町音羽町線（駿府城公園）
総務委員会	5月24日	①静岡競輪場 ②東静岡駅アート&スポーツ/ヒロバ ③清水庁舎（清水都心） ④静岡庁舎低層棟3階（災害対策本部） ⑤静岡庁舎高層棟3階（同報無線室（放送室））
市民環境教育委員会		①清水有度第一小学校 ②新清水斎場 ③西ヶ谷清掃工場
企業消防委員会		①中島浄化センター ②消防局庁舎 ③清水谷津浄水場 ④静岡ヘリポート



所管事務調査（現地視察）の様子

## 2 議会運営委員会

市議会を円滑に運営するため、議案の取扱いや審議手順等を協議・決定する議会運営委員会を29年度は16回開催しました。

## 3 特別委員会

改選後である29年度は、改めて特別委員会の設置がありました。市政の重要課題について調査・研究するため、次の4つの特別委員会を設置しました。

### 【特別委員会の設置目的】

特別委員会名	設置目的
人口減少対策特別委員会	喫緊の課題である人口減少及び地方創生に対応するため、定住・交流人口の増加策及び全ての市民がいきいきと暮らせるまちづくりに関する協議・討議（意見交換）・提言等を行うこと。
中山間地活性化調査特別委員会	中山間地の活性化及び振興策の調査及び整備に関する協議・討議（意見交換）・提言等を行うこと。
総合交通政策特別委員会	交通弱者への対応及び交通網の整備による地域活性化のため、各地域の実情に合わせた総合交通体系のあり方に関する協議・討議（意見交換）・提言等を行うこと。
清水都心まちづくり特別委員会	清水都心及びその周辺地区の賑わい・交流を創出するため、清水港の魅力を活用したまちづくりのあり方に関する協議・討議（意見交換）・提言等を行うこと。

### 【特別委員会委員構成】

特別委員会名	委員構成（人）						
	自民	志政	公明	共産	山	緑	計
人口減少対策特別委員会	5	2	2	1	0	0	10
中山間地活性化調査特別委員会	4	2	1	1	1	0	9
総合交通政策特別委員会	4	2	1	1	0	1	9
清水都心まちづくり特別委員会	5	2	1	1	0	0	9
計	18	8	5	4	1	1	37

※ 自民：自由民主党静岡市議会議員団、志政：志政会、公明：公明党静岡市議会、共産：日本共産党静岡市議会議員団、山：「山と町」安全の会、緑：緑の党グリーンズジャパン 前表も同じ。

※ 清水都心まちづくり特別委員会は、栗田知明委員の死亡（平成30年3月3日）に伴い、志政会が1人減となった。



平成 29 年度の特別委員会の開催状況は次のとおりです。

【特別委員会の開催回数】

特別委員会名	開催回数
人口減少対策特別委員会	3回
中山間地活性化調査特別委員会	3回
総合交通政策特別委員会	3回
清水都心まちづくり特別委員会	3回

4 委員会視察

各委員会においては、委員会活動や今後の市政の参考とするため、他都市等へ行政視察を行いました。視察の状況は次のとおりです。

【各委員会の行政視察実施状況】

	委員会名	視察日	視察先、内容
常 任 委 員 会	総務委員会	7月25日 ～27日	【岡山市】①移住・定住に関する支援策について 【熊本市】①熊本城現地視察 ②熊本地震の状況について 【産学連携機構九州（九州PPPセンター）】 ①地域PPPプラットフォームについて
	市民環境教育委員会	8月29日 ～31日	【姫路市】①「小中一貫教育」について 【高松市】 ①多様なパートナーシップによるまちづくりについて ②自治会活動推進事業について 【鳥取市】①スマートエネルギータウンについて
	厚生委員会	8月28日 ～30日	【南魚沼市】①南魚沼版CCRC構想について 【高崎市】①介護SOSサービスについて ②はいかい高齢者救援システムについて 【富山市】①富山まちなか総合ケアセンターについて
	観光文化経済委員会	8月8日 ～10日	【広島市】①半林半X移住支援事業について ②広島平和記念資料館（現地視察） 【松山市】①坂の上の雲ミュージアム（現地視察） ②松山市中小企業振興基本条例について ③松山観光港（現地視察）

	委員会名	視察日	視察先、内容
	都市建設委員会	7月25日 ～27日	<p>【福山市】①鞆地区のまちづくりについて ②福山城公園周辺の整備について</p> <p>【松江市】①歴史・文化を活用したまちづくり (松江市景観計画の概要) ②松江城の保存活用 (松江城山公園の活用／堀川遊覧) ③松江市地域公共交通網形成計画</p>
	企業消防委員会	8月8日 ～10日	<p>【気仙沼市】 ①～震災からの復興～ 上下水道事業の現状、今後の見通し及び問題点について ②人口減少において、持続可能な上下水道事業の体制の確保について</p> <p>【陸前高田市】 ①～震災からの復興～ 消防(常備、非常備消防)の現状、今後の見通し及び問題点について ②人口減少において、持続可能な消防の体制の確保について</p> <p>【国土交通省江戸川河川事務所(春日部市)】 ①首都圏外郭放水路(現地視察)</p>
特別委員会	人口減少対策特別委員会	11月6日 ～7日	<p>【奈義町(岡山県)】 ①地方創生戦略について ②子ども・子育て支援策について</p> <p>【神戸市】①企業立地戦略について</p>
	中山間地活性化調査特別委員会	12月18日 ～19日	<p>【那智勝浦町(和歌山県)】 ①移住者の定住政策について ②色川地域振興推進委員会の活動について ③那智勝浦町色川地区(現地視察)</p>
	総合交通政策特別委員会	11月7日 ～8日	<p>【柏市】①オンデマンド交通システムについて ②オンデマンドタクシー「カシワニクル」について</p> <p>【宇都宮市】①地域内交通の導入について</p>
	清水都心まちづくり特別委員会	1月23日 ～24日	<p>【下関市】 ①市立しものせき水族館「海響館」について(現地視察) ②ウォーターフロント地区整備について</p>

(質問又は質疑等)

第 14 条 市議会議員は、会議等において質問又は質疑(以下この条において「質問等」という。)を行うに当たっては、当該質問等の論点を明確にするとともに、市民に分かりやすい方法で行うものとする。

2 市長等は、会議等における質問等に対して、議長又は委員長の許可を得て、答弁に必要な範囲内で当該質問等の趣旨を確認するための発言をすることができる。

総括質問者数及び質疑者数は次のとおりでした。

【総括質問者数等】

	27 年度	28 年度	29 年度
総括質問 質問者数 (人)	85	80	76
一問一答方式質問者 (人)	7	10	5
質疑者数 (人)	1	2	2

【一括質問・一括答弁方式】

質問者が通告した事項をまとめて質問した後、答弁者が答弁をまとめて行う方法。

【一問一答方式】

一つの質問に対して一つの答弁をする方法。



総括質問及び市長答弁の様子(右は一問一答方式による質問)

## 第6章 市議会体制

(市議会の機能の強化)

第15条 市議会は、市長等の事務の執行に係る監視及び評価並びに政策立案及び政策提言に関する市議会の機能の強化に努めるものとする。

### 1 議員研修会

#### (1) 議員研修会

29年度の議員研修会開催状況は次のとおりです。

##### 【議員研修会開催状況】

開催日	演 題	講 師
10月11日	これからの観光まちづくりについて	(公財)するが企画観光局 CMO企画開発部長 片桐 優
12月12日	ちきゅうの研究調査活動と清水港への期待	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 理事 篠崎 資志
2月20日	「国際海洋文化都市・清水」の実現に向けて一水族館・博物館の役割と大学での繁殖育成研究一	東海大学海洋学部水産学科 教授 東海大学海洋科学博物館 館長 秋山 信彦

#### (2) 新議員研修会

改選により、新たに議員になった12名(元職を含む)を対象に、これからの市議会の参考となるよう、静岡市総合計画や予算の概要などを題材とした研修会を行いました。

##### 【新議員研修会】

開催日	研修内容
4月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時会の流れ</li> <li>・政務活動費</li> <li>・議員の資産公開</li> </ul>
5月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員の心得(講師:井上恒彌議長)</li> <li>・議会制度のあらまし</li> <li>・静岡市総合計画</li> <li>・静岡市の財政</li> <li>・現地視察(草薙駅周辺整備)</li> </ul>
5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会の運営について</li> <li>・議会基本条例、議会改革</li> <li>・議員提案条例</li> <li>・現地視察(駿府城公園発掘調査等)</li> </ul>

## 2 議員に向けた情報提供

議員からの調査依頼に基づく情報提供に加え、議会事務局からの自発的な情報提供の充実にも努め、年4回発行の「LEGAL NEXT」、28年度に創刊した月1回の「調査法制通信」に加え、情報の速報性を高めるため、週1回、中央省庁の主な報道発表等を掲載する「調査法制通信 速報版」の発行を開始しました。



議員研修会



調査法制通信（右が速報版）

(議会改革の推進)

第 16 条 市議会は、議会改革を推進するとともに、市議会の活性化を図るため、議長が必要と認めるときは、市議会議員で組織する議会改革推進会議を設置することができる。

議会改革推進会議は設置しませんでしたでしたが、本紙に取りまとめた議会改革に向けた取組を積極的に進めたほか、議会改革に向けた調査研究も行いました。

## 1 議会運営委員会における先進地視察

議会改革も含め先進的な取組を進めている他都市議会の状況を調査するための視察を行いました。

### 【議会運営委員会視察】

日付	視察先	視察項目
8月23日	さいたま市議会	・常任委員会における発言持ち時間制について ・オープン委員会について
8月24日	八戸市議会	・タブレット端末の活用について
8月25日	千葉市議会	・常任委員会における発言持ち時間制について

## 2 議会改革検討会議

29年度には、各会派の代表等で構成する議会改革検討会議を開催し、議会改革に向けた、準備としての話し合いを行いました。

その中で出された意見の一つとして、議会だよりにおける総括質問の記事に、質問した議員の氏名を掲載していく提案がなされ、2月定例会号（平成30年6月1日発行）から議員の氏名を掲載することとなりました。

## 2 本市議会の取組に対する評価

### (1) 早稲田大学マニフェスト研究会ランキング

早稲田大学マニフェスト研究会が平成 29 年 6 月に公表した「議会改革度ランキング 2016」における本市議会のランキングは、回答した 1,347 議会のうち、131 位という結果となりました（2014 年は 72 位、2015 年は 259 位。）。

これは、同研究会が独自に設定した指標等に基づく評価であるため、その結果に一喜一憂する必要はありませんが、この結果については、3 年間で 3 本の議員提案条例を制定したことが評価されたものです。

### (2) 他市議会からの視察

本市議会における議会改革に向けた取組に関し、他市議会から受け入れた議員視察の状況は次のとおりです。

29 年度は、議会改革や議会基本条例など、議会事務局への視察依頼が例年より多く見受けられました。

#### 【議会改革等に関する視察受入状況】

日付	視察者	視察項目
10 月 26 日	兵庫県市議会議長会 事務局長研修会	・ 議会運営、議会改革の取組
12 月 18 日	郡山市議会 議会運営委員会	・ 議会運営及び議会改革の取組について ・ 議員提案条例について
12 月 19 日	市川市議会 議会運営委員会	・ 議会運営の活性化について (議会改革の取組について)
12 月 22 日	墨田区議会 自由民主党	・ 議員提案条例について
1 月 18 日	仙台市議会 広報委員会	・ 議会広報について
1 月 31 日	天童市議会 清新会	・ 議会運営及び議会改革について
2 月 5 日	浜松市議会 公明党	・ 政務活動費の改革について

(議会事務局等)

第 17 条 市議会は、市議会の機能の充実を図るため、議会事務局の機能の強化及び組織体制の整備に努めるものとする。

2 市議会は、市議会議員の調査研究に資するため、議会図書室の充実に努めるものとする。

## 1 組織体制整備

30 年度より、議会事務局は、市民に開かれた議会への取組をこれまで以上に強化するとともに、執行機関への監視機能及び政策形成機能の一層の充実を図り、議会を支える議会事務局の体制を強化するため、市長部局における部相当から局相当の組織へと位置付けられます。

また、29 年度においても、事務局職員の資質向上等を図るため、外部機関が行う研修等へ積極的に派遣しました。

### 【外部研修機関等への職員派遣】

日付	派遣先	研修内容等	所属
6 月 26 日	総務省自治行政局	「地方自治法等を一部改正する法律」に関する説明会	調査法制課
7 月 7 日	市議会議員共済会	議員年金に関する研修会	議会総務課
7 月 18 日 ～19 日	NOMA 行政管理講座	議会運営に関する研修	議事課
7 月 28 日	静岡県東部地区市議会運営担当者会議	議会運営に関する研修	議事課
8 月 18 日	静岡県市議会事務局研究会	議会運営に関する研修	議事課
8 月 24 日 ～25 日	専門図書館協議会	地方議会図書室等職員研修会	調査法制課
9 月 5 日 ～15 日	市町村アカデミー	法務実務能力の向上 B (応用)	調査法制課
10 月 26 日 ～27 日	全国議事記録議事運営事務研修会	議事運営及び議事記録に関する研修	議事課
10 月 26 日 ～27 日	静岡県市議会事務局研究会	議会運営に関する研修 (県外視察)	議事課 調査法制課
11 月 1 日 ～2 日	NOMA 行政管理講座	議会事務局の政策立案、調査、法務能力の向上のあり方	調査法制課
11 月 2 日	東海市議会事務局研究会	議会運営に関する研修	議事課
1 月 17 日 ～18 日	第 65 回全国市議会事務局職員研修会	議会運営、議会広報等に関する研修	議事課



## 2 議員アンケート

議員からのニーズを把握し議員活動の円滑な支援につなげるため、議会図書室など議員に向けた情報発信に関することを中心に議員アンケートを実施しています。アンケート調査は26年度から実施しており、29年度は28年度調査結果を受け、次のような改善を行いました。

### 【議員アンケートに寄せられた意見を踏まえての業務改善】

【意見】 図書室の特集コーナーの設置頻度は3か月程度が良い。

【対応】 26年度から散発的に行っていた特集コーナーは、29年度から3か月ごとにテーマを変更することとしました。

【意見】 (調査法制通信について) 時節に合ったタイムリーな話題を掲載してほしい。

【対応】 よりタイムリーな情報提供を目指し、最新の国の情報等を掲載する『<速報版>調査法制通信』を創刊しました。

### 【特集コーナーの設置状況】

期間	テーマ	内容
4月～6月	地方議会・議員について	静岡県議会議員の改選直後であることを踏まえ、改めて地方議会議員の役割を確認するため、議会・議員に関する図書を配架。
7月～9月	交流人口増加 ～文化・芸術・アートと地域活性化～	3次総の重点プロジェクトでもある「まちは劇場」の推進に関連し、交流人口にスポットを当て、特に、文化・芸術・アートによる交流人口増加策に関する図書を配架。
10月～12月	雇用におけるダイバーシティ ～限られた人材の有効活用に向けて～	様々な人口減少社会において、限られた人材を有効活用するため、多様な人材が活躍することのできる環境の整備と多様な人が活躍できる職があることが望ましい。そこで「雇用におけるダイバーシティ」に焦点を当て、関連する図書を配架。
1月～3月	健康長寿で『自宅ですっと』	本市が3次総でも掲げる「健康長寿のまち」に関連してデータヘルスや「自宅ですっと」をキーワードに地域包括ケアシステム、看取りに至るまでの図書や雑誌を配架。



特集コーナー

## 2 議会図書室の充実

### (1) 図書等の購入

29年度は、133冊の書籍、148冊の雑誌を購入し図書室へ配架しました。

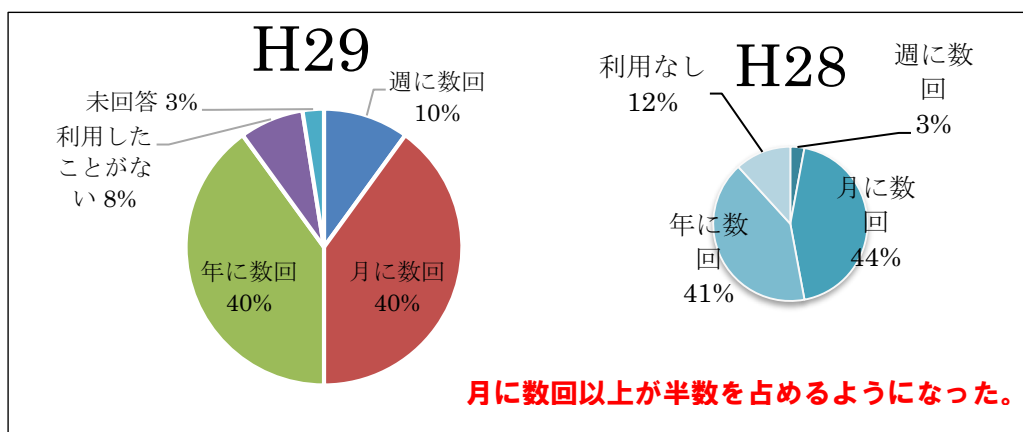
#### 【主な購入図書】

購入月	冊数	主なもの
4月	11	地方議会を再生する
5月	8	アグリビジネス進化論
6月	10	博物館と地方再生
7月	13	はじめよう、お金の地産地消
8月	9	新地方公会計の基礎知識
9月	11	街の公共サインを点検する
10月	14	ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか
11月	10	関係人口を増やす一定住でも交流でもないローカルイノベーション
12月	9	まちづくりとしての地域包括ケア
1月	11	人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか
2月	9	持続可能な開発目標とは何か
3月	18	病院再編・統合ハンドブック 第2版
計	133	

### (2) 図書室利用状況

29年度と28年度のアンケート結果から、週に数回の利用が3%から10%への増となっています。

#### 【図書室アンケート結果（図書室の利用頻度）】



### (3) 図書室情報の発信

毎月の図書購入にあわせ新着図書情報を発信しました（新着雑誌情報も同様に実施。）。

## 第7章 雑則

(他の条例等との関係)

第18条 この条例は、市議会に関する基本的事項を定める条例であり、市議会に関する他の条例等を制定し、又は改廃する場合には、この条例との整合を図るものとする。

(条例の見直し)

第19条 市議会は、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じてこの条例の見直しを行うものとする。

これまで、この条例の見直しは行っていませんが、議会改革に向けた機運を継続させるため本報告書を作成し、議会基本条例に基づく取組の検証を行っていきます。